

雄大な水辺景観を活用

～魚野川水辺プラザ整備事業の推進～
信濃川水系魚野川（新潟県北魚沼郡川口町）

1. 事業の概要

1) 目的

魚野川川口地区は、大河信濃川と清流魚野川が合流する雄大な水辺景観を有し、また、川口ヤナ場に代表される川と人の営みが良好に調和した河川環境が存在しています。また、周辺には「キャンパス川口」（滞在型家族旅行村）や年間76万人が利用する関越自動車道川口SAがあります。

しかし、これらの施設は機能的に連携がなされていないため、地域住民や他地域からの来訪者の体験学習の場、川が育んだ文化の保存伝承の場となるよう「魚野川水辺プラザ」として登録(平成13年1月)し、良好な河川環境の保全と創出のため整備を進めます。

なお、整備にあたっては、地域の皆さんと協力しながら整備を進めています。

2) 全体計画

高水敷整正、水路整正、管理用通路等

2. 事業の経緯

平成13年度に事業着手し、水路整正を実施しています。

3. 平成15年度の要求内容

平成15年度は、高水敷整正、管理用通路等の整備を推進します。



一般国道8号 ^{さんじょう}三條拡幅 新潟県 ^{さんじょう}三條市

1．事業の概要

^{さんじょう}三條拡幅は、一般国道8号 ^{さんじょう}三條市内における交通渋滞の解消を目的とした、新潟県 ^{さんじょう}三條市 ^{おあしま}大島から同市 ^{とば}土場に至る延長約6.1kmの現道拡幅事業です。

2．事業の経緯

昭和49年度に事業着手し、現在までに ^{さんじょう}三條市 ^{しもすごろ}下須頃から ^{かみすごろ}上須頃間の延長約1.7kmの暫定4車線供用及び、^{さんじょう}三條市 ^{すくえ}直江から ^{とば}土場間の延長約1.8kmの完成4車線供用を行っています。

また、平成11年度には ^{さんじょう}三條大橋 ^{おおはし}の下り線側（^{さんじょう}一期線）工事を完成し、平成12年度より上り線（^{さんじょう}二期線）の下部工事に着手、平成13年度に上部工事に着手しています。

3．平成15年度の実施内容

平成15年度は、^{さんじょう}三條大橋（^{さんじょう}二期線）の工事を完成するとともに、^{さんじょう}三條市 ^{かみすごろ}上須頃から ^{すくえ}直江間の延長約1.1kmの舗装工事を完成し、完成4車線供用する予定です。



工事の進む三條大橋（二期線）
長岡方面より、三條市街地部を望む

一般国道 345 号 ^{せなみ} 瀬波バイパスの全線供用 新潟県 ^{むらかみ} 村上市

1. 事業の概要

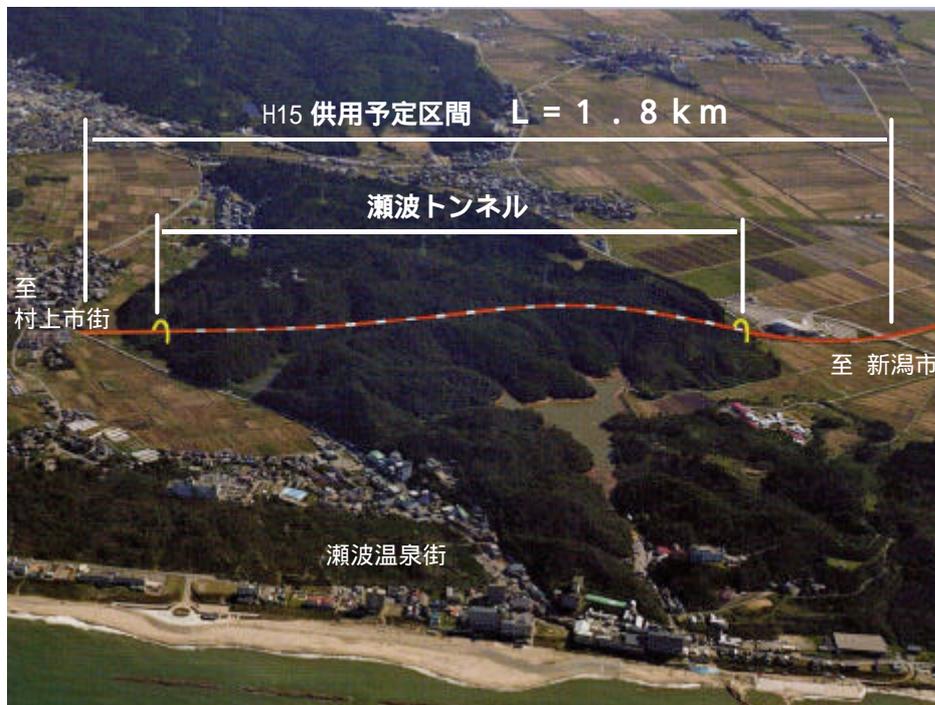
^{せなみ} 瀬波バイパスは、一般国道 345 号の ^{むらかみ} 村上市 ^{せなみおんせん} 瀬波温泉地区および ^{いわふね} 岩船地区における幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保するとともに海水浴シーズンにおける ^{せなみおんせん} 瀬波温泉地区での渋滞緩和を目的とした延長約 4.5 km の 2 車線道路です。

2. 事業の経緯

昭和 58 年度に事業着手し、これまでに ^{むらかみ} 村上市 ^{ようかいち} 八日市から ^{いわふね} 同市岩船までの約 2.7 km を供用しました。平成 14 年度は、^{せなみ} 瀬波トンネルなどの道路改良工事を推進します。

3. 平成 15 年度要求の概要

^{せなみ} 瀬波トンネルを含む約 L = 1.8 km の残る区間での舗装工事を行い、全線供用により事業を完成させます。



瀬波トンネルを含む供用予定区間の全景

主要地方道長岡栃尾巻線 整備促進 新潟県加茂市加茂新田～西蒲原郡中之口村六分

1. 事業の目的

主要地方道長岡栃尾巻線は、長岡市を起点とし、加茂市を經由して、巻町へ至る幹線道路です。

本事業区間の信濃川を渡河するの現道(五反田橋)の右岸側は、道路が複雑に交差し、人家も連担しているため見通しがとれず、その解消が急務となっており、(仮称)加茂信濃川大橋を含むバイパス整備を進めています。

また、中之口川を渡河する現道(両郡橋)は、昭和9年架設の老朽橋のため、荷重制限と大型車の通行が規制されており、早急な解消が急務となっており、橋梁の架け替えを進めています。

2つの河川で隔てられた地域間の交流と、交通規制を解消するため、平成9年度より事業を進めています。

2. 事業の経緯

平成9年度より補助事業で着手し、平成14年度は物件補償及び工事を促進しています。

3. 平成15年度要求の概要

引き続き工事を促進します。



新潟みなとトンネルの早期全線供用

新潟港：新潟県新潟市

1. 事業の目的

港湾から発生する貨物運搬車両やフェリーを利用する旅客の交通円滑化と、新潟市内の交通渋滞を緩和して物流・人流の効率化を図るとともに、新潟西港～空港～東港の物流機能の連携強化を図ります。

2. 事業の経緯

昭和62年度に事業に着手し、平成14年5月19日に全体計画延長約3.3kmのうちトンネル部分を含む約2kmについて開通。残る区間の整備を進めているものです。

3. 平成15年度概算要求の内容

平成17年の全線供用に向け、残る右岸側の擁壁部や取付道路の整備を推進します。



みなとトンネル出入口(入船側)付近



トンネル内部

常願寺川水辺の楽校プロジェクトの整備促進 本宮砂防えん堤の補強対策

富山^{かみにいかわ}県^{おおやま}上新川郡^{ほんぐう}大山町^{なかにいかわ}字^{たてやま}本宮^{あしくらじ}
中新川郡立山町^{あしくらじ}字^{あしくらじ}芦峯寺

1. 事業の概要

1) 目的

本宮砂防えん堤は、常願寺川中流域の狭窄部に位置し、堤長107m、堤高22m、貯砂量5百万立方メートル（日本最大）の砂防えん堤です。

本宮砂防えん堤は、昭和12年に完成し常願寺川の基幹えん堤として、下流域の安全確保に寄与してきた。一方、築造後60年以上が経過し、施設の補強対策が必要となり、平成11年度より副えん堤、護岸工等の整備を促進しています。

整備にあたっては、常願寺川における砂防事業や自然・文化・歴史等を学べる拠点となるよう「水辺の楽校プロジェクト」として地域の意見を踏まえ整備促進します。

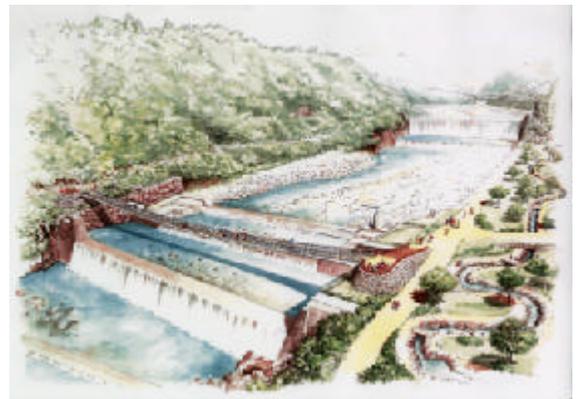
2) 計画諸元

副えん堤補修
魚道工

側壁、護岸
観測橋

2. 事業の経緯

昭和12年 本宮砂防えん堤完成
平成11年度 本宮砂防えん堤補強に着手
平成11年8月23日 国の登録有形文化財に登録
平成12年9月12日 常願寺川水辺の楽校プロジェクト推進協議会設立
平成13年1月31日 水辺の楽校プロジェクト登録



完成イメージ図

3. 平成15年度の要求内容

えん堤下流の左岸側に魚道を設置します。



一般国道8号 富山高岡バイパス (下田交差点立体化) 富山高岡市

1. 事業の概要

富山高岡バイパスは、一般国道8号の富山市から高岡市間の交通混雑の解消を目的とした、富山県富山市金泉寺から高岡市四屋に至る延長約24.8kmの道路です。

下田交差点立体化は、主要渋滞ポイントである下田交差点の交通混雑の解消を目的とした、富山県高岡市下石瀬から同市野村間の延長約1.1kmの事業です。

2. 事業の経緯

富山高岡バイパスは、昭和41年度に事業着手し、昭和62年度までに全線供用しています。

下田交差点立体化は、平成10年度に事業着手し、同年度に用地買収、平成12年度に工事着手しています。

3. 平成15年度の実施内容

平成15年度は、改良工事及び橋梁下部工事を推進し、橋梁上部工事に着手する予定です。



渋滞する下田交差点
(富山側から金沢方向を望む)

主要地方道高岡環状線 整備促進

富山県高岡市佐野～同県同市六家

1. 事業の概要

主要地方道高岡環状線は、能越自動車道と連絡し、富山県西部地方拠点地域の中心都市である高岡市街地部を環状する地域高規格道路であり、高岡地域の広域的アクセス性を向上するため整備を進めています。

2. 事業の経緯

平成14年度までに、1期区間として高岡市上伏間江～同市佐野の延長 L=2.6km についての暫定供用を目指しています。

平成13年度から、2期区間として高岡市佐野（一般国道156号）～同市六家（一般国道8号）までの区間を補助事業として事業着手し、平成14年度は用地買収を促進しています。

3. 平成15年度要求の概要

引き続き用地買収を促進します。



起点から終点を望む

臨港道路(東西線)の整備推進

～新湊大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県新湊市

1. 事業の概要

伏木富山港新湊地区において分断されている港口部を結び、港湾貨物等の臨港交通の円滑な処理を図ります。

2. 事業の経緯

平成9年度より実施設計調査費が認められ、これまで現地交通量調査、交通需要予測、地盤調査、土質調査、予備設計等を実施してきました。平成13年7月に開催された北陸地方整備局事業評価監視委員会において「事業継続」との判断が示され、同時に「現地着工にあたっては、建設コストの縮減を図るとともに港湾計画の変更等、必要な手続きを完了すること」との付帯条件が付されたことから、国ならびに富山県において橋梁部を含む全長3.6 km について、経済性、利便性および技術的課題についての検討と港湾計画変更の手続き(平成14年7月変更)を進めてきました。

その結果、建設コストの縮減について相応の目途がたったこと等から、平成14年度現地着工の運びとなりました。

3. 平成15年度概算要求の内容

東西主塔の下部工本体(ニューマチックケーソン)等の製作および用地買収を行い、整備を推進します。



伏木富山港(新湊地区)新湊大橋(仮称) イメージパース

多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)]の完成

伏木富山港：富山県高岡市

1．事業の概要

伏木富山港伏木地区に、効率的な荷役を可能とし港湾物流コストを削減するとともに船舶の大型化に対応するため、大水深の岸壁(水深14m)を備えた多目的国際ターミナルの整備を図ります。

2．事業の経緯

伏木地区は小矢部川の下流に位置しているため、上流からの土砂の流下により航路水深が浅くなり、その航路の水深を確保するため埋没浚渫を実施してきましたが、コスト縮減等の観点から、航路の埋没浚渫からの脱却と船舶の大型化への対応および危険物取扱施設の市街地からの分離を図るため平成元年から外港建設に着手してきました。

平成12年度より、伏木地区背後に立地している企業の陸送距離短縮による物流コストの縮減および船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルとして14m岸壁の整備を行ってきており、平成15年度に完成を迎えます。

今後は岸壁背後のふ頭用地等の用地造成を早期に完成させ、平成17年の供用開始を目指します。

3．平成15年度概算要求の内容

岸壁上部の舗装工および液状化対策工を施し、平成15年度に完成させます。



伏木富山港（伏木地区）外港現況写真

臨港道路(外港1号)の整備推進

～新伏木港大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県高岡市

1. 事業の概要

外港展開を進める伏木富山港(伏木地区)に於いて、港湾貨物や人の円滑な流動のため、臨港道路(L=4,000m、暫定2車線)の整備を行います。

2. 事業の経緯

平成4年度に事業着手し、伏木外港の整備に合わせ 期工事として橋梁を含む延長1,500m(暫定2車線)の早期供用を目指した整備を進めています。

3. 平成15年度概算要求の内容

平成15年度は、引き続き用地補償ならびに橋脚部の整備推進を図ります。



新伏木港大橋(仮称) 完成イメージパース

一般国道 8 号 かなざわとうぶ 金沢東部環状道路 石川県金沢市

1 . 事業の概要

かなざわとうぶ 金沢東部環状道路は、かなざわ 金沢市内における交通混雑の解消を図ることを目的とした、石川県金沢市今町いままちから同市鈴見台すずみだいに至る延長約 9 . 4 k m の道路です。

2 . 事業の経緯

昭和 6 2 年度に事業着手し、昭和 6 3 年度に用地買収、平成 3 年度に工事に着手している。また、平成 7 年 4 月に地域高規格道路「かなざわそと 金沢外環状道路」の一部として整備区間に指定し、整備を進め、平成 1 3 年度末には今町 I C から梅田 I C 間の延長約 1 . 3 k m を供用しています。

また、平成 1 4 年度末には、御所 I C から鈴見台間の延長約 2 . 4 k m を暫定 2 車線で供用する予定です

3 . 平成 1 5 年度の実施内容

平成 1 5 年度は、つきうら 月浦・かみやち 神谷内・ごしよ 御所の 3 トンネルに着手するとともに、うめだ 梅田 I C から月浦 I C 間の延長約 2 . 1 k m については改良・橋梁・舗装工事を完成し、暫定 2 車線供用する予定です。



平成 1 5 年度供用に向け工事の進む月浦 I C 付近
(梅田 I C 方向から神谷内 I C 方向を望む)

一般国道159号 津幡バイパス 石川県河北郡宇ノ気町～金沢市

1. 事業の概要

津幡バイパスは、一般国道159号の津幡町地内の交通混雑の解消及び金沢市と能登地域との連携強化を目的とした、石川県河北郡宇ノ気町内日角から金沢市今町に至る延長約11.6kmの道路です。

2. 事業の経緯

昭和46年度に事業着手し、現在までに津幡町舟橋から金沢市今町間の完成4車線約6.9kmを含む延長約7.4kmの供用を行っています。

また、地域高規格道路である「月浦白尾IC連絡道路」の一部として、平成7年4月に整備区間に指定され、整備を推進しているところです。

3. 平成15年度の実施内容

平成15年度は、石川県河北郡宇ノ気町内日角から同郡津幡町舟橋間の延長約4.2kmの橋梁・舗装工事を完成し、暫定2車線供用する予定です。



平成15年度の供用に向け工事の進む津幡バイパス舟橋JCT付近
(金沢方向より宇ノ気町方向を望む)

主要地方道七塚宇ノ気線 部分供用 石川県河北郡七塚町白尾～同郡宇ノ気町内日角

1. 事業の目的

主要地方道七塚宇ノ気線は、北陸自動車道月浦IC（仮称）と能登有料道路白尾ICを結ぶ、地域高規格道路「月浦白尾IC連絡道路」であり、広域幹線道路ネットワークを形成し交通混雑の緩和や石川県長期構想「金沢能登2時間圏」を支援します。

2. 事業の経緯

平成9年度より補助事業で着手し、平成14年度は用地買収及び工事を促進しています。

3. 平成15年度要求の概要

引き続き工事を促進し、一般国道159号津幡バイパスの供用にあわせ部分供用します。



一般国道 364 号 ^{おおうちどうろ} 大内道路の事業完成

石川県 ^{えぬま やまなかまち} 江沼郡山中町

1. 事業の概要

一般国道 364 号は、福井県 ^{おおの} 大野市を起点とし、石川県 ^{かが} 加賀市に至る幹線道路です。
^{おおうちどうろ} 大内道路は、福井・石川県境部における幅員が狭小で急勾配となっている区間の解消を目的とした延長 3.2 km の 2 車線道路です。

2. 事業の経緯

平成 3 年度に事業着手し、平成 13 年度までに L = 1.5 km を供用しました。平成 14 年度は、舗装工事を行ない ^{わがたに} 我谷地区 L = 0.1 km を供用し、残る区間の ^{しんおおうち} 新大内トンネルや橋梁などの工事を推進します。

3. 平成 15 年度要求の概要

^{しんおおうち} 新大内トンネルを含む区間の舗装工事を行ない、L = 1.6 km を供用し事業を完成させます。



現 364 号（左）と施工中の新大内トンネル（右）

航路泊地(-10m)の拡幅整備推進

金沢港：石川県金沢市

1. 事業の概要

近年、金沢港においては船舶の大型化が急速に進んでいる一方、現状の航路幅が狭いため、特に冬季において大型船の操船が難しい状況となっています。そのため、航路を拡幅整備し、大型船舶の航行安全の確保を図ります。

2. 事業の経緯

平成11年度より大浜航路(-10m)の幅員をそれまでの200mから280mへ拡幅するための浚渫工事に着手し、平成16年度の完成を目指すものです。

3. 平成15年度概算要求の内容

航路拡幅部を浚渫し、同じく金沢港金石地区で整備を進めている廃棄物埋立護岸内に投入します。



旅客船ターミナルの整備推進

七尾港：石川県七尾市

1．事業の概要

観光やレクリエーションの拠点ならびに大規模地震発生時における物流機能の確保や住民の避難、緊急物資輸送に対処するために既存施設の耐震化を行い旅客船ターミナル(水深 7.5m)として整備を行います。

2．事業の経緯

平成7年度に事業に着手し、整備を進めています。

3．平成15年度概算要求の内容

平成15年度は、引き続き基礎工及び本体工等の整備推進を図ります。



七尾港旅客船ターミナルイメージパース

多目的国際ターミナルの整備推進

～岸壁(-14m)(2号)～

敦賀港：福井県敦賀市

1．事業の概要

敦賀港への入港船舶の大型化と増大する港湾貨物に対処するため、鞠山南地区に大型岸壁を整備して港湾物流コストの削減を図ります。

2．事業の経緯

平成8年度より地盤改良工（サンドコンパクション工法）に着手、平成19年度の完成を目指すものです。

3．平成15年度概算要求の内容

基礎工及び堤体工（ケーソン製作）等を行い引き続き事業を推進します。



敦賀港(鞠山南地区)多目的国際ターミナルイメージパース

臨港道路 3 号線(トンネル)の供用

敦賀港：福井県敦賀市

1 . 事業の概要

「新港地区」と「本港地区」とを結ぶ臨港道路（L=810m、2車線）を整備し、円滑な港内物流と港湾利用者の利便性の向上を図ります。

2 . 事業の経緯

平成元年度に事業に着手し、平成 15 年度に暫定 2 車線を完成します。

3 . 平成 15 年度概算要求の内容

平成 15 年度完成を目指し、設備関係等を整備します。

